

## 蔵王小学校 150年の歴史

古昔 蔵王町内の医王寺、真光寺において村内児童を教養せられる  
文政初年（1818） 奥屋敷佐藤氏が児童や青年を集め訓陶せられる  
安政2年（1855） 福山藩士の妹尾氏が浜川屋敷にて子弟教育の任に就く  
文久2年（1862） 妹尾氏の没後、鞆津の沢村氏が跡を継ぐ  
慶応（1865）のころ 医師の高橋氏が余暇に、啓蒙の仕事を抱う  
明治4年正月（1871） 学制が公布される・・・7歳から就学10歳で修了

明治5年（1872）5月

医王寺（4区）を借りて啓蒙所を設置する

**（蔵王小学校のはじまり）**

啓蒙所とは・・・郷土の偉人窪田次郎が立ち上げた福山独自の教育機関で、誰もが無料で教育を受けることができることを目的に、地域ごとに町村役や豪農商層から資金を集めて設置される



明治6年（1873）8月

広尾の小畠氏宅（3区）を借り受けて学校を設置、**広尾小学校**と称する  
小学校を上下二等に分け、満6歳から8年間の修学することとなる

明治11年（1878）2月

広尾の土屋氏宅（3区）に移り、**市村・吉田村二カ村小学校**となる

明治11年（1878）12月

岩川（1区）の村有家屋に移り、**岩川小学校**と称する  
（現在の1区集会所の東側）

明治19年（1886）4月

小学校令が公布され、小学校が、尋常小学校・高等小学校の2種類に分かれる

明治20年（1887）4月

学区等の改正により**第六尋常小学校**と校名変更する

明治23年（1890）2月

字山王の大浜屋敷（4区）にて新校舎建築の起工

同年 11月3日 竣工（現在の蔵王公民館、蔵王保育所とその西側【3区と4区】）

それに先立ち、10月に**市村尋常小学校**と校名変更する

その後の数度にわたる小学校令の改正があり  
明治41年(1908)4月市村尋常高等小学校を  
併置する



その後、大正元年(1912)10月に  
市村実業補習学校を、大正15年(1926)  
7月には市村青年訓練所(のち市村青年  
学校)も併設する

〈写真の石柱は現在も蔵王小で使用されています まだ若いクスノキも写っている〉

昭和16年(1941)3月

市村尋常高等小学校を市村国民学校に改称する

就業年数は初等科6か年、高等科2か年(現在の中学2年生まで)となる

昭和22年(1947)4月

学校教育法により市村小学校を開校  
(現在の小学校の形)



昭和31年(1956)10月

福山市への合併により福山市立蔵王小学校に改称



昭和49年(1974)3月

現在地(11区)へ新校舎竣工

4月28日に移転し開校

7月にはプールおよび付属施設を竣工

翌年、1月 運動場落成

現在に至る

出典：深安郡市村村史編纂委員会「市村史」、蔵王小学校「学校沿革誌」

写真：蔵王小学校、蔵王公民館保管資料から